

初江

○新緑に手足伸ばして新生児
卯の花を腐して野外ライブフェス
メルカリニ出す服二着更衣

丞子

○更衣うごく季語なるこの暮し
垣に添ひ櫛若葉賞つタ散歩
応援歌校歌もおぼゆ運動会

瑞枝

○若き日を取り出す箆筒更衣
○新樹光心の皺の伸びゆけり
新緑や寝てばかりいるナマケモノ

郁子(土)

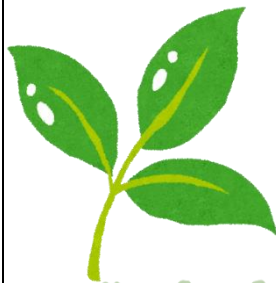
○若人の二の腕眩し更衣
更衣顔も一しよにできぬかな
薫風や耳鼻科へ急ぐアレルギー

酔花

○娘の名前つけし人形更衣
○更衣キリンの首は長すぎる
辻地蔵の更衣して別の顔

えり

箆筒捨つライフスタイル衣替
生垣の馬場の通りや若葉風
五月鯉アンパンマンのパトロール



文子

○竹生島唐門通す若葉風
二の腕の去年の日焼け更衣
手作りの小鯨のミリン句友から

農子

○更衣柔らかき風通り抜け
新緑のトンネルの中青に染む
青い空日毎根を張る青田かな

○夜の雨明けて紅バラ色深し
山ひとつ揺れるが如く椎の花
更衣去年の染みが薄くあり

志津子

富子

○今年より吾独りだけの更衣
○ 躰ひこほえが混沌の世に顔を出し
タチアオイひとつ折れても次があり

千代

○新緑に齧る大きな塩むすび
新緑の枝から枝へ猿の影
名札もう付けぬ生活更衣

郁子(岡)

○ハイキングふと見上げれば桐の花
更衣今年こそはと苦笑い
新緑に小鳥さええずり風そよぐ

利恵

雨の中友と待ち合わすつばめ二羽
新緑の中車走らす夢を見る
竹の秋昨夜の風の置き土産



味元 昭次 作品

田植機に幼馴染や緑さす
土佐に生れ土佐に老いたり緑さす
悪妻のようにには見えず更衣

★次回市民句会

【開催日時】

令和六年六月二十六日(水)

午後一時十五分〜午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 研修室

どなたでも自由にご参加いただけます